

## 【EU】2020年に向けての欧州経済戦略

海外立法情報課・鈴木 尊紘

\* 欧州委員会は、2010年3月3日、2010年を目標年度に据え、2000年に策定された「リスボン戦略」の後を引き継ぎ、次の10年間である2020年までのEUの経済社会政策戦略を提示した。リーマンショック後の経済危機にあるEUがどのようにして「持続可能な」経済社会を打ち立てようとしているのか、その具体的方向性が示されている。

### 戦略策定の背景及びその全体像

2009年秋に発生したリーマンショック後の経済危機は、アメリカや我が国だけではなくヨーロッパにも波及した。それを具体的に示すデータとして、2009年の1年間だけでEUのGDPが4%も下落し、約2300万人（EUの労働人口の10%）が失業状態にあることが挙げられる。こうした状況を踏まえて、欧州委員会は、『欧州2020—知的で持続可能で、かつ、包摂的な成長への欧州戦略』（COM（2010）2020）（注1）を発表した（以下「欧州経済戦略」という）。この欧州経済戦略は、次に掲げる3つの「成長」を軸としている。すなわち、①「知的な成長—知識及びイノベーションに基礎を置く経済発展」、②「持続可能な成長—資源をより効果的にかつグリーンに（地球にやさしく）使用した、より競争力のある経済」、③「包摂的な成長—経済的、社会的及び地域的結合をもたらす高水準雇用経済」である。以下で概要を紹介する（注2）。

#### 「知的な成長（Smart Growth）」

知的な成長とは、将来におけるEUの成長の「駆動輪（driver）」となる「知識及びイノベーション」を強化し、それに立脚した成長を意味する。

- ・研究開発活動（R&D）にこれまで以上に投資を行う。アメリカは対GDP比で2.6%、日本は3.4%を費やしているが、それに劣らない投資を実施する。
- ・教育、職業訓練及び生涯学習を強化する。高技能・高能力が求められるこれからの労働市場に対応できる教育を行う。EUでは25歳から34歳の間の者で大学教育を修了している者は当該年齢層の3分の1以下であるが、アメリカでは40%、日本では50%に達しているので、その水準を目標とする。
- ・電子情報社会を構築する。2013年までに農村部においても30Mbps（メガビット/每秒）以上の高速インターネット回線を使用でき、2020年までには、EUの50%以上の世帯が100Mbpsの高速回線を利用することができるようにする。

#### 「持続可能な成長（Sustainable Growth）」

持続可能な成長とは、資源を効果的にかつ持続可能な形で利用し、その上で競争力のある経済の形成を目指していくことを意味する。

- ・再生可能エネルギー等のグリーン産業は、EU が世界においてリードしている分野である。こうしたグリーンな手法を使用し、経済的成長と資源・エネルギー消費増加という相関関係を「切り離す (decouple)」。そのようにして、競争力を強化すると同時に、エネルギーの持続可能性を保障する。
- ・二酸化炭素回収又は二酸化炭素隔離等の技術を用いることを通して、今後 10 年で温室効果ガスの排出量を抑制し、気候変動との闘いを継続する。
- ・2020 年までに石油及びガスの輸入額を 600 億ユーロ減少させる。このことは、EU にとって財政上の安定性をもたらすと同時に、エネルギーの持続可能性の保障にもつながる。再生可能エネルギーの使用を現在より 20%増加させることにより、60 万人分の職を創出する。加えて、エネルギー効率も 20%増加させることを目指す。

### 「包摂的な成長 (Inclusive Growth)」

包摂的な成長とは、高技能・高能力の雇用を創出すると同時に、それに対応すべく、労働市場、職業訓練及び社会的保護の現代化及び貧困との闘いを実施し、「結束した社会 (cohesive society)」を築いていくことを意味する。

- ・現在 EU では、労働人口の 3 分の 2 が就労しているが、特に、女性、高齢者及び移民等の労働市場への参入率が低い。したがって、こうした者たちの労働市場への参入を促進する。また、若年者層の失業率が 21%を超えているという現状を打開する。
- ・8000 万人の労働者が低賃金・低技能の職 (job) に就いている。2020 年には、高技能・高能力が求められる職が 1600 万人分に増え、その一方、低技能の職が 8000 万人分から 1200 万人分に激減することが見込まれることから、職業訓練に結びつく生涯学習を強化する。
- ・8000 万人の市民が貧困にあえいでおり、そのうち 1900 万人の子どもが貧困層に属している。労働者の 8%が、生活する上で必要なお金を稼ぐことのできない働く貧困層になっている。こうした貧困との闘いを継続していく。

### 欧州経済戦略の実施体制及び日程

欧州経済戦略は、第 1 に、数値目標を定めた上で、EU 及び各国のレベルで実施する。第 2 に、EU は各国の時宜に応じた報告を受け、その状況に応じた具体的な成長戦略を見出していく。同戦略は、今後、欧州議会、閣僚理事会で審議された後、2010 年 6 月の欧州理事会で承認される見通しである。

注(インターネット情報はすべて 2010 年 4 月 16 日現在である。)

(1) “EUROPE 2020 –A European strategy for smart, sustainable and inclusive growth,”  
<<http://ec.europa.eu/eu2020/pdf/COMPLET%20EN%20BARROSO%20%20%20007%20-%20Europe%202020%20-%20EN%20version.pdf>>

(2) 以下の説明に関しては、次の論考を参照した。濱口桂一郎「EU の新成長戦略-知的で持続的で包摂的な成長」『生活経済政策』2010.4, no.159, pp.35-40.